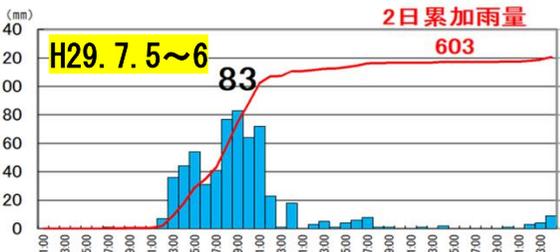
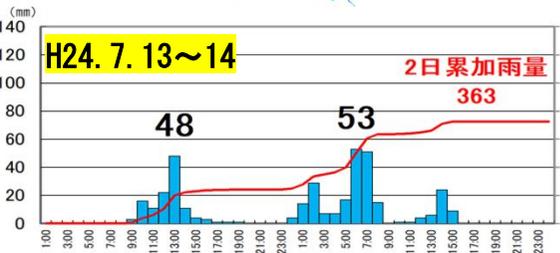


速報版 【R5. 7豪雨】河川改修による治水効果（日田圏域）

R5. 7の梅雨前線豪雨では、日田圏域に甚大な被害をもたらした平成24年7月、平成29年7月の九州北部豪雨災害と同等規模の雨量を観測（上宮山雨量観測所で1時間76mm、2日雨量で472mmを記録）しましたが、日田圏域の河川氾濫による家屋浸水被害は大幅に減少しました。

日田圏域では、平成24年7月、平成29年7月と記録的な豪雨被害を受け「河川災害復旧等関連緊急事業」や「総合流域防災事業」により河道拡幅や橋梁の架け替えなどを実施しており、これらの治水対策の効果が発現されたものと考えられます。大肥川においては、溢水氾濫の被害が大きかった区間に捷水路が完成し、今回の出水において溢水氾濫は生じませんでした。

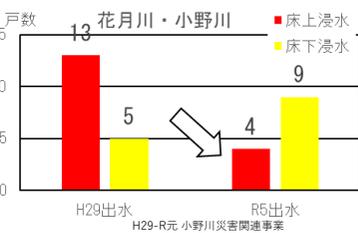
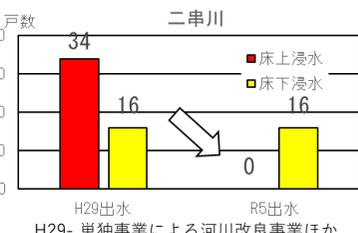
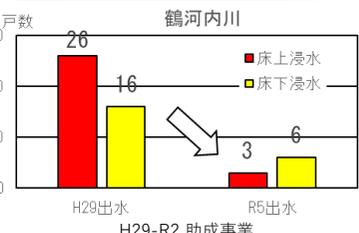
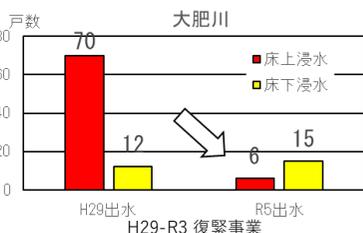


H29. 7
洪水浸水区域



河川災害復旧等関連緊急事業の効果(大肥川)

R5. 7
洪水浸水区域



H29-R元 小野川災害関連事業
H25-29 花月川交付金事業